

2018年(平成30年)10月10日(水)

毎 日 新 聞

# NPO解説本 台湾で出版

## 三島の渡辺さん著書中国語訳

### 「まちづくりのモデルになれば」

三島のNPO法人、グラウンドワーク

中国語版の題名は「地方創生的挑戦 日本NPO的在地創業」。



渡辺豊博さん

三島(GW三島)の渡辺豊博専務理事(68)が2016年に出版した「先生、NPOって儲かりますか？」が中国語に翻訳され、台湾で11日に出版される。渡辺さんは「三島での協働のまちづくりが、台湾でモデルになるなら光栄。三島でできたことは台湾でもできる」と話している。



台湾で出版される「先生、NPOって儲かりますか？」の中国語版の表紙

## 地方創生的挑戦 日本NPO的在地創業

渡辺豊博 著

地帯新創：社団法人社団法人学生協同会  
協力出版：金馬西高南社科大学、雲林縣山明社科大学、  
嘉義工程技術學院、嘉義大學、嘉義大學、嘉義大學

GW三島と交流のある生涯学習機関「社区大学(コミュニティカレッジ)全国促進会」が1万部出版する。社区大学は全島に83校あり、登録者数約40万人。

社区大学や一般大学で教材などとして使われるという。解散したり休眠状態だったりするNPOが多いため、この本ではNPOのビジネス面での課題や、事業継続性などについて解説。翻訳の背景について渡辺さんは「台湾で

も環境改善やまちづくりのNPOが多数あるが、自立組織としてどう運営していくかが課題になっている。日本より行政の力が強かった台湾でも、住民との合意形成が重要となっている」としている。

【石川宏】